

月

報

視聴覚教育

NO. 228

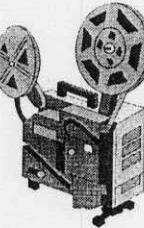
発行日 8. 12. 行
岡崎市 AVL
編 集 広報委員会

視聴覚用語
『DVD』
デジタル・ビデオ・ディスク。CDと同じ直径12cmの光ディスクにCD約7枚分の情報量が入る。これはフルハイビジョンによる映画の場合、画質、音質は劇場で楽しむのとほとんど変わらない。

さらなる発展に向けて

視聴覚ライブラリー副所長 村松 慎一

日本視聴覚教育協会主催・文部省後援による平成八年度の全国自作視聴覚教材コンクールにおいて、視聴覚ライブラリー・現職教育委員会理科部が制作した「知られざる大地震—三河地震を探る」が文部大臣賞（最優秀賞）を受賞した。昭和五十年度に初入選を果たして以来これまで、実に多くの輝かしい業績を残してきたこの自作視聴覚教材の制作も、今年度はその他に優秀賞三点、入選一点の合わせて五本の作品が受賞という快挙となつた。



これも視聴覚部の皆様方の日夜作品づくりに邁進される誠実な姿勢が遺憾なく発揮された結果であり、心から拍手を送りたい。

さて、この月末には、

当視聴覚ライブラリーも住み慣れた「太陽の城」から市役所南側の「岡崎市情報ネットワークセンター」へと移転した。高度情報化社会への対

応に備え整備された「岡崎市情報ネットワークセンター」の一角にあって、視聴覚ライブラリーに課せられる責務も今後ますます大きい。ライブラリーは、従来の業務に加え、学校教育及び社会教育の両分野において必要とされる役に立つ情報、誰もが取扱いやすい情報を提供する拠点として変革していくなければならない。

今、まさに視聴覚ライブラリーは正念場を迎えようとしている。マルチメディア時代の到来に対応できる、将来へ向かっての基礎体力を養わなければならぬ。そのためには、必要とされる



映像情報の収集、蓄積が不可欠であり、とりわけ自作教材制作がライブラリー充実のために果たす役割は大きい。

今回の受賞の感動を新たに、今後の新しい視聴覚ライブラリーへの発展に向け、また、ライブラリーに寄せられる期待の大きさに応えるため、自作視聴覚教材制作に関わる皆さんのが今後の活躍を大いに期待してやまない。

中学校部門

「JOYFUL ENGLISH — A PHONE CALL —」

視聴覚ライブラリー・英語部制作

「城下町岡崎—その成り立ち—」

（入選）

視聴覚ライブラリー・社会科部制作

中学校部門

「リサイクル活動—その現状と課題—」

中三社会

視聴覚ライブラリー・社会科部制作

小学校部門

「いつでもある水?」

小四社会

視聴覚ライブラリー・社会科部制作

中学校部門

「城下町岡崎—その成り立ち—」

（入選）

視聴覚ライブラリー・社会科部制作

去る十月二日、財団法人日本視聴覚教育協会主催・文部省後援、全国自作視聴覚教材コンクールが、東京で開催された。全国各地から多数の応募があり（135作品）視聴覚ライブラリーと社会科部、理科部、英語部で制作した自作ビデオ五作品が、栄ある賞に輝いた。

全国自作視聴覚教材コンクール
五作品が入賞!!

II 視聴覚教育あれこれ

平成八年度

